

一般財団法人三重YMCA
2021年度事業報告書
【計画期間：2019年度～2021年度】

§1 意義

一般財団法人三重YMCAは、キリスト教精神をもとにしつつ、宗教、国、政治、人種などの枠を超えて、課題にある青少年の痛みを受け止め、彼らが個人として、また社会人として課題に向き合い、解決していく力をもった人に成長すること願い、そのために必要な諸活動を営む社会教育団体である。

また、高齢化社会にあって、彼らが高齢者になっても、そのおかれた環境のなかでポジティブに生きることができることを願い、ウェルネスを諸活動に置く。

※「ウェルネス」とは、各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康及び社会的健康のそれぞれについて、これらがより良い状態へと統合され、より望ましい人となることを目標とするものです。

【年間聖句】

「ひとびとは東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」
(ルカによる福音書13章29節)

§2 経営理念（ミッション・ステートメント）

三重YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、次の使命を果たすための活動を展開します。

- 1 すべての人が、生涯をとおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学び合う教育に力を注ぎます。
- 2 お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
- 3 歴史に学び、互いの文化を理解し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
- 4 常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実践する社会の実現をめざします。

§3 事業活動の現況に関する事項

● 事業の全般的状況

2021年度は、3ヶ年計画の最終年度であった。しかし、YMCA幼児園の年少組園児数の減少、新しいプログラムが実施できなかったこと等から、売上目標を達成することができなかった。

2022年度は、年長組の卒園によって園児数はさらに減少する。成人向けの新プログラムを計画しているが不透明である。このため2022年度は厳しい経営状況となると予想している。

昨年来の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、行事に様々な制約を受けた1年であった。さらに2022年2月には、園児とご家族、リーダーが感染し、2月6日（月）から2月10日（木）まで休園を余儀なくされた。四日市保健所の指導のもと、適切に対応できたと考えている。

このような中でも、リーダーの努力と工夫により、湯の山温泉の蒼滝での水遊び、クリスマス祝会（あさけプラザ）、運動会（四日市市緑地体育館）等の大きな行事を行うことができ、感謝である。

事業内容は、昨年度の形態を引き継いで行った。

- ・重点経営課題：「現有資産（人・物）を活用し収益を拡大する」
- ・数値目標と2021年度末結果

区 分	3年後(2021年度末)目標	2021年度末実績	達成率	2020年度末実績
売上高	40,000千円	31,487千円	78.7%	34,011千円
経常利益	5,000千円	△2,505千円	—%	2,084千円

2022年度は、YMCA幼児園の全日制1・2歳児クラスを4月から開始した。加えて、園児のさらなる獲得努力、成人プログラムの成立にむけて取り組む。

皆様方におかれましては、これまでと同様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

● 各事業の売上高

(単位：千円、%)

事業名	今期売上金額	構成比	前期売上金額	構成比
YMCA幼児園事業	24,850	78.9	26,761	78.7
青少年育成事業	2,018	6.4	2,481	7.3
語学事業	0	0	1,418	4.1
その他事業	4,619	14.7	3,351	9.9
合計	31,487	—	34,011	—

※その他事業：音楽・クラフト教室、TOEIC試験会場運営受託

§ 4 資金の借入れその他資金調達の状況

2021年度は、資金不足が生じた月があったため、役員等からの寄付によって対応した。

§ 5 設備投資の状況

保育室の増設を行った。全日制1・2歳児を対象とし、玄関ホールを改装した。

§ 6 対処すべき課題

- 1 理事後継者を早急に獲得すること
- 2 YMCA幼児園の土地は、借地である（定期借地契約、平成35年12月契約満了）。早急に対応策をたてること。
- 3 個人会員、日本YMCA同盟からの借入れが大きく、返済の責務を負っているとともに、債務超過の原因であり、毎月の資金繰り圧迫の要因となっていること（§8参照）

§ 7 設置施設の状況

名 称	所在地	備考
本社、YMCA幼児園	三重県四日市市阿倉川町3-17	土地は、借地
体育ホール	三重県四日市市阿倉川町6-11	建物は、借家

§ 8 主要借入先

借入先	金額
個人会員	59,441千円
公益財団法人日本YMCA同盟	7,702千円
合計	67,143千円

§ 9 組合の運営組織の状況に関する重要な事項

当法人には、組合組織はなく、従業員代表を選んでいる。

§ 10 職員の状況

区分	人数	平均年齢	平均勤続年数	備考
総主事	0名	—	—	不在
役職員数	1名	—	14年	YMCA 幼稚園園長
職員数	17名	47.7歳	12年	
TOEIC 試験官数	18名	—	—	8回、延べ144名
合計	36名	—	—	—

§ 11 役員に関する事項

役職	氏名
代表理事	塚本浩巳
理事	栗原正明
理事	薦田正男
監事	千賀直道
監事	後藤友則

§ 12 その他法人の状況に関する重要な事項

- 当法人は、1974(昭和49)年3月三重県四日市市に誕生、1983(昭和58)年4月財団法人三重キリスト教青年会として財団法人格を取得、2014(平成26)年4月一般財団法人三重YMCAに移行した。
- 2018年10月25日付けにて「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」(三重県知事 鈴木英敬)を受けた。これにより「認可外保育施設」として認定された。
「子福第04-240号 平成30年10月25日」
三重県こども・福祉部 少子化対策課保育サービス・幼保連携班

以 上

【数値指標】

§ 1 各事業別クラス、参加者数等一覧

(2022年3月31日現在)

クラス名	対象	回数	人数	備考
【YMCA幼稚園事業】				
マミー	1歳児の親子	月2回	3組	英語、体育、音楽
つくし	2歳児の親子	毎週水曜日	8組	英語、体育、音楽
めばえ	満3歳児	毎週木曜日	1名	
つぼみ	全日制1, 2歳児	週5日	3名	11月開始
のぞみ(年少)	3歳児	週5日	8名	
みのり(年中)	4歳児	週5日	15名	
ひかり(年長)	5歳児	週5日	15名	
アドバンスアウル他	年少～年長	週1回	17名	幼児英語クラス
アドバンスグラッズ	小学1・3年生	週1回	17名	小学生英語クラス
アウルエレメンタリー	小学1～6年生	週1回	11名	小学生英語クラス
算数・英語	中学1年生	週1回	0名	
中学生準備	小学6年生	週1回	5名	
中学生(英検対策)	中学1～3年生	週1回	3名	
ピアノ	年少～小学生	週1回	9名	
クラフト	年少～小学生	月2回	15名	絵画、クラフト製作
英語で遊ぼう	年少～年長	3回	延べ48名	夏・冬・春休み
クラフト	年少～小学生	4回	延べ100名	夏・冬・春休み
【青少年育成事業】				
幼児体操教室	年少～年長	週1回	14名	年39回
マスター	小学1～4年生	週1回	7名	年39回
短期集中体操	年少～小学生	4日間	延べ50名	3回開催